

競技注意事項

1 本記録会は2023年度公益財団法人日本陸上競技協会競技規則並びに本団体の申し合わせ事項によって運営する。

2 招集について

- (1) タイムテーブルに記載されている時刻とする。
- (2) 招集所は設けないので、競技場所に直接移動する。その際に特にフィールド競技はトラック種目の妨げにならないよう注意する。
- (3) 一次招集は設けないので、現地で時刻に遅れた場合には棄権とみなす。なお、棄権する場合には12:00までに本部まで棄権届を提出する（棄権届は学校受付時に配布する）

3 競技運営について

- (1) 計時は電気計時（100分の1）とする。
- (2) 競技前の投てき・跳躍の練習は審判員の指示によって行う。
- (3) 短距離競走では、競技者の安全のため決勝戦到着後も自分に割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- (4) トラック競技のスタートについては、「イングリッシュコマンド」で行う。
※1回目のフライング失格を採用する。

4 フィールド種目について

- (1) 原則として3回の試技のみとする。しかし、競技の進行によってはベスト8のみ6回の試技とする。
- (2) 走高跳の試技について

	練習	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目
男子	130	135	140	145	150	155	160
女子	115	120	125	130	135	140	145

※以降は3cm刻みで上げていく。

5 ウォーミングアップについて

- (1) 室内走路はハードル練習のみとする。ただし、雨天時はこの限りではない。
- (2) 直線種目を行っている12:00~14:30まではバックストレートをウォーミングアップ場として開放する。ただし、競技を行っている種目の妨げにならないように注意すること。

6 補助役員について

- (1) 生徒は各学校の顧問の先生の指示に従って会場準備をする。
- (2) 競技終了後はクーリングダウンをし、顧問の先生の指示に従い補助員を行う。
- (3) 競技終了後は、全員で会場の片づけを行う。
- (4) 競技場は17時までしか使用できないので速やかに退出する。